4海水浴場監視及び管理業務委託 仕様書

1 委託期間

契約締結の翌日から令和4年9月2日(金)まで

ただし、監視業務に当たる期間は、令和4年7月16日(土)から令和4年8月21日(日)まで

2 業務履行地

- ・日川浜海水浴場(所在地:神栖市日川浜地先)
- ・波崎海水浴場(所在地:神栖市波崎字豊ヶ浜地先)

3 勤務時間及び監視時間

(1)勤務時間 8時30分から16時30分まで

(2)監視時間 9時00分から16時00分まで

4 委託業務内容

(1) 海水浴場の監視

- ①遊泳者を監視するとともに、海水浴客の安全を守り、水難事故のないように務めるものとする。万が一、水難事故が生じた場合は、迅速に行動し、救助及び応急手当を速やかに行うこと。
- ②海水浴客の安全を確保するために、次の事項を遵守するように注意喚起すること。
 - ア 遊泳区域を標示する標旗、浮き等を移動し、又は損壊しないこと。
 - イ 遊泳区域以外の水域で遊泳しないこと。
 - ウ 酒気を帯びて遊泳しないこと。
 - エ 夜間に遊泳しないこと。
 - オ 自らの責任においてゴミその他の汚物を処理し、危険物の持込をしないこと。
 - カ 浜地、芝を損傷させるおそれのある車両の乗り入れをしないこと。
 - キ バーベキュー、花火等火気類の使用及びキャンプ等の行為をしないこと。
 - ク 遊泳区域において、モーターボート及び水上オートバイ等の航行、又はもり、やす、水中銃及びその他身体に危害を及ぼす器具の持ち込み及び使用しないこと。
 - ケ ペット等を散歩させるときは引き綱をつけ、海に入れないこと。
 - コ その他危険な行為、他人の迷惑になる行為並びに公衆の衛生、安全及び風俗を損なうような行為をしないこと。
 - サ ソーシャルディスタンスを確保するなど、感染防止対策に努めること。

③悪天候等による遊泳禁止並びに遊泳注意時には、海水浴客の安全を確保するために、的確な指導・注意を行うこと。波打ち際の子どもには特に注意すること。

④上記業務の実施のため、場内アナウンス等を有効に活用すること。

(2) 海水浴場の管理

①遊泳区域は、遊泳者がその区域を明確に識別できるよう標旗浮標等をもって区画すること。

②海水浴場遊泳区域ロープ、救助艇及び救助用機材・器具の保守点検を行い、海水浴客及び海水浴場内の安全確保に万全を期すこと。

③海水浴場並びに海水浴場内の施設（監視塔等）の整理清掃を行い、常に良好な状態での保守管理に努めること。

(3) 監視パトロール

①海水浴場にある救助艇にて、8時30分、11時、14時の1日3回遊泳エリア周辺の監視パトロールを実施すること。

(4) 救助・救護活動

①事故発生時における関係者及び警察機関への連絡、救急車の出動要請、医療機関との連絡等が緊急にできるような体制を整備しておくこと。

②事故発生時には、迅速に行動し、事故者を救助し、応急手当を速やかに行うこと。また、関係行政機関と連携のうえ、その指示に基づく救助救護活動に積極的に協力すること。

③迷子者の保護並びに迷子者の捜索依頼があった場合には、その捜索に協力すること。

(5) 災害発生時等の対応

①大規模な地震や津波注意報、警報の発表等、来場者に危険が及ぶと考えられる災害等の発生のおそれがある時は、来場者の安全を確保するため、情報の周知や避難場所への誘導等、必要な措置を講じること。

②上記業務の履行のため、業務開始日までに避難場所、避難経路等について市と協議を行うこと。

(6) 協議及び調査(計測)、報告業務

①海水浴場開設期間中は、当日の天候、水温、波の状況等から遊泳状況（遊泳可、遊泳注意、遊泳禁止）を決定し、午前9時までに神栖市又は神栖市の指定する者に報告すること。またその後、遊泳状況等に変化が生じた場合は、速やかにその旨を報告すること。

②前号の内容及び業務の執行状況については、勤務日誌により報告すること。

③各日の入込客数を調査し、市に報告すること。

④各日の砂浜における放射線量を指定した時間に測定し、市に報告すること(計器は市保有)。

⑤業務終了時には、市に業務報告書を速やかに提出すること。

(7) Wi-Fi 機器の設置

- ①各海水浴場に電源を挿しこむだけで使用できる、ワンタッチWi-Fi を5台ずつ設置すること。
- ②収納ボックス付き、屋外でも使用でき、30m圏内で10台以上接続可能なものとする。
- ③LTE 回線を利用し、データ通信容量無制限のものとする。
- ④海水浴場開設前までに使用可能な環境に整備し、開設期間中は常に使用できるものとする。
- ⑤設置場所については、市の担当者と協議し決定することとする。
- ⑥海水浴場エリア内でWi-Fi が使用できることを周知すること。

(8) 新型コロナウイルス感染症対策

- ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市が用意した「いばらきアマビエちゃん宣誓書」を見やすい場所(複数箇所)に掲示し、海水浴場利用者に利用登録を呼びかけること。
- ②海水浴場の利用者に対して、検温の協力依頼、ソーシャルディスタンスを確保するようアナウンスすること。
- ③出勤前に体温を測定するなど、健康チェックを実施し、発熱や風邪の症状がある場合は出勤せず、代替者が業務にあたること。
- ④マスクやフェイスシールド等を着用し、感染症対策に努めること。
- ⑤監視業務中は手洗いや手指の消毒をこまめに行うこと。
- ⑥使用頻度に応じて監視詰所の設備や救助用品等の消毒及び十分な換気を行うこと。
- ⑦救護者の情報(氏名、連絡先等)を記録し、疫学調査ができる体制を整備すること。
- ⑧従事者もしくは来場者に感染症の疑いがある場合、速やかに関係機関に連絡し、適切な対応を図ること。
- ⑨従事者が感染者もしくは濃厚接触者等になった場合の対応案を作成し、提出すること。
(同居人が感染した場合も含む)
- ⑩公益財団法人日本ライフセービング協会が策定したガイドライン及び本市が策定した「海水浴場における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ガイドライン」に準ずること。

5 委託業務履行上の遵守事項

(1) 業務履行の体制

- ①業務履行に当たっては、原則として次の表に掲げる人員を各海水浴場に従事させることとする。
なお、業務開始日1週間前までに人員配置表を市に提出し、協議を行うこととする。

(表)

名称	日川浜海水浴場	波崎海水浴場	必要資格等
ライフガード	土日・祝日及び8月12日,15日:9名	土日・祝日及び8月12日,15日:9名	日本赤十字社発行の水上安全法救助員養成講習(Ⅱ)受講者証, 日本ライフ

	上記以外の日:5名	上記以外の日:5名	セービング協会のベーシック・サーフライフセーバー資格,又はそれに準ずる資格を有する者
	(上記のうち2名)	(上記のうち2名)	ダイビングの資格を有する者
PWCドライバー	1名	1名	ウォーターリスクマネジメント協会のPWCレスキューライセンス又は財団法人マリンスポーツ財団のK38PWCレスキューライセンス取得者
PWCレスキューアー	1名	1名	ウォーターリスクマネジメント協会のPWCレスキューライセンス又は財団法人マリンスポーツ財団のK38PWCレスキューライセンス取得者
アナウンス雑務者	1名	1名	特になし

②総括責任者は,委託業務全般における統括的な業務を行い,全業務従事者の管理監督を行う。

③アナウンス雑務者は,検温の協力等について適宜アナウンスを行う。

④利用者が密になっている場合は,ソーシャルディスタンスを確保するよう声かけを行うこと。

⑤業務執行中は,みだりに職場を離れてはならない。

⑥期間中従事者は,傷害保険に加入すること。

6 その他の事項

(1)業務に使用する機械器具設備等の準備

①業務に使用する機械器具及び設備のうち,次の物については,市が受託者に無償で貸与するものとする。ただし,海水浴場開設期間中に,これらのものに著しい損傷等があった場合においては,受託者の責任において修繕等を行うものとする。

・監視詰所,監視塔(タワー)	各海水浴場1式
・放送設備	各海水浴場1式
・救助艇(マリンジェット)	各海水浴場2艇
・ボートトレーラー	各海水浴場2台
・レスキューボード,レスキューチューブ,ニッパーボード	各海水浴場1式
・机,椅子	各海水浴場1式

②業務に必要な用水,電力,器材保管のための倉庫,駐車場は無償で受託者に貸与する。

③各海水浴場監視詰所に,連絡用の携帯電話を受託者の負担において設置すること。

④上記機械器具等を活用するために必要となる燃料,電池等については,受託者の負担において準備すること。

- ⑤救助艇の運搬については、受託者の負担においてけん引可能な車両を準備すること。
- ⑥上記以外で業務に必要なトランシーバー、アクアパック、双眼鏡、AED等の物品については、受託者の負担において準備すること。
- ⑦新型コロナウイルスの影響により、海水浴場の開設を行わず、又は開設期間中に中止となり監視員の配置が不要となった場合には、市と協議の上、支払額を決めることとする。